

7. メインテーマ

介護福祉士養成のための「学生とのコミュニケーション技術」の理論と方法

8. キーワード

コミュニケーション、人間関係、グループ、言語表現、非言語表現

9. 学習の目的

この授業では、人と人の関わりの基本ともいえるべき、五感を通じたやりとりの意味と方法を理論と実践の両面から学びます。心理学、社会心理学、教育学などの領域における様々な知見を援用しつつ、技術としてのコミュニケーションを学びます。

10. 達成課題

当然のことではありますが、技術というからには机上の学習だけでは不十分なのは言うまでもありません。そのために、1対1のやりとり、小集団での話し合い、より大きな集団での口頭発表など、様々な形態でのコミュニケーションの実際を、実技を通して学ぶことが必要になります。ただ、今回はオンラインでの学習となりますので、そうしたことを実現するために様々な工夫が必要だと考えています。

この授業を通して学ぶことは、一言で言えば文字通り「コミュニケーション」の「技術」です。その到達目標は、技術を身につけてそれを実際に体現できること、そしてもちろんそれらの全てを他者に伝えられること、つまりコミュニケーションの技術について教育することができるようになることです。

11. 授業の方法

この科目は「技術」という言葉がついていることからわかるように、単なる知識として理解することにとどまらず、それを実際に使えることを目指しています。そのために、授業ではできるだけ対話的な活動や、参加型学習（例えば輪読会形式など）、課題解決型学習などで、具体的な技術を身につけていただけるように支援します。ただ、zoomでのオンライン形式の授業のため、かなりの制約の中でできうる限り上記の形に近づけることを試みたいと考えています。

12. 教材・テキスト

テキストは指定のものはありません。参考図書は、授業時に適宜ご紹介いたします。

13. その他教材

授業では必要に応じて印刷教材を配布し活用します。

14. 他の授業との関連（準備学習の内容）

他の授業としては、「心理学」、「教育心理学」、「学生指導・カウンセリング」などが、特

に関係の深い授業科目です。

15. 成績評価の方法・採点基準

毎回の授業への参加度（質問等の発言、グループ討議での発言・参加の様子、全体への発表の出来具合）20%と、授業ごとに提出する「リアクションペーパー」の評価 20%、授業最終日に提示するレポートの評価 60%とします。

16. 毎回の学習予定と主題

1. 8月1日（土）1限；コミュニケーションの大切さ
教員と学生の自己紹介。健康の概念を理解し、心理的・社会的な健康にとってコミュニケーションが大切なことを理解する。（発表と話し合い＋リアクションペーパー）
2. 8月1日（土）2限；コミュニケーションとは何か
コミュニケーションの種類、コミュニケーションの過程、言語表現と非言語表現などを理解する。（講義とビデオ視聴）（ミニテスト①＋リアクションペーパー）
3. 8月1日（土）3限；向き合うコミュニケーション①
魅力とは何か、魅力と人間関係、魅力の形成、魅力の構造などを理解する。（講義とビデオ視聴＋リアクションペーパー）
4. 8月1日（土）4限；向き合うコミュニケーション②
非言語表現の役割、五感と距離、個人空間などを理解する。（講義とビデオ視聴）（ミニテスト②＋リアクションペーパー）
5. 8月28日（土）1限；並ぶコミュニケーション①
向き合う関係と並ぶ関係の意味を理解する。共同注意や間主観性の概念を理解する。（講義と演習、発表＋リアクションペーパー）
6. 8月28日（土）2限；並ぶコミュニケーション②
向き合う関係と並ぶ関係を対比的に理解する。（講義とビデオ視聴）（ミニテスト③＋リアクションペーパー）
7. 8月28日（土）3限；人間関係の心理学
フロイトの自我理論を基礎として、バーンの交流分析における自我分析を体験的に理解する。（講義とエゴグラムの実施、発表＋リアクションペーパー）
8. 8月28日（土）4限；集団の力①
集団の意味、集団形成の意味や特徴。リーダーシップにおける PM 理論を理解する。（講義とビデオ視聴）（ミニテスト④＋リアクションペーパー）
9. 10月2日（土）1限；集団の力②
同調行動（アッシュの実験）、集団心理、人間を変える力、（ビデオ視聴後、グループ討議と発表＋リアクションペーパー）
10. 10月2日（土）2限；コミュニケーションの課題

直接会話、印刷文字、電話、インターネット、SNS などオンラインでの講義も含めて、これからの社会におけるコミュニケーションの課題と意義を議論する。(意見発表、科目終了のまとめテスト+リアクションペーパー)

17. ホームワーク

テキスト(いわゆる教科書)を指定しておりませんので、事前に該当箇所を通読して疑問点を整理しておくなどの予習は難しいと思います。そこで、ホームワークとしては復習的な活動が主になります。とりわけ、参考図書として複数の書籍や映像資料などを授業時にご紹介いたしますので、そうした文献等を参照していただくことが、授業内容の理解を深めることに役立つことと思います。あるいは、その際に疑問点が出てくるかもしれませんので、そうしたことを次回の授業等で発表していただくことも有益ではないかと思えます。

18. オンライン学習での学び方

全回出席は前提となりますが、共に学ぶもの同士のコミュニケーション、教員とのコミュニケーションなどを通して、積極的に授業に参加し、学習内容を生きた技術として身につけ理解するような、積極的な姿勢が望まれます。

1. メールによる情報交換

此の授業では、受講生一講師間での、授業用資料の送付やレポート類の提出を、メールに添付文書して送る方法で行います。

そのため、第1回の授業終了後、お手数ですが、受講生皆さんが、この講座の受講で使っているアドレスを、必ず(教員の指定アドレス)に送ってください。その際、必ず「件名」に「お名前」と「敬介教2021」とご記入ください。

(このアドレスは、受講期間中、講師のみが使用するものとします。受講生同士の意見交換等は是非行っていただきたいのですが、その場合の連絡先の交換は、受講生同志で行ってください。Zoomのチャットなどをご活用ください。)

2. Zoomでの参加について

①この講座は、Zoomで参加いただいておりますが、ウェビナー方式ではなく、ミーティング方式での参加になっています。これは、「インタラクション(意見交換など)のない授業は、「授業」ではない。」という、最近のアクティブラーニングの考え方を反映しているためです。(この詳しい内容は、授業中に触れます。) というわけですので、この授業は単に聞くだけではなく「参加」が前提です。又、受講生同志での意見交換の機会を多く設けますので、ぜひ、ともに学ぶ仲間を増やしてください。

②従って、授業中は基本的に、映像をオンにしてご参加ください。

③音声は騒音が入ってしまうと困るので、原則ミュートにしておいていただきたいのですが、状況に応じてすぐにミュート解除できる様にしておいて下さい。

④講義中に質問や意見等がある場合は、チャット機能を使って質問(意見)を送るか、発言したいという意思表示を行ってください。(ご発言いただける様、こちらから指名します。)手を挙げて連絡して下さるのも可ですが、こちらでは一人一人の画像が小さいので、見落とす場合があります。

⑤授業中に資料の共有として資料(原則として事前配布)を示す場面が、多々あります。出来るだけ、おおきな画像が見られるか、事前のプリントなどしてしまうかして、使えるようにしてご参加ください。

⑥授業を進めながら、この授業での Zoom への参加の仕方や、守るべき内容等について、皆さんと共に、一定のルールを創っていきたいと思いますので、どんどんご提案下さい。

⑦この授業の Zoom の ID とパスコードなどは以下の通りです。(全回、同じ)